

【学習目標/学習方法】

- ・英語の基本的な知識を身に付け、実際に運用できる能力を養う。
- ・英語を学ぶことを通して、言語や文化についての理解を深め、国際理解を深めていこうとする態度を養う。
- ・自分の考えや、思いを適切に伝えることができ、他者の話を理解しながら互いを認め合い、自身を高めていこうとする力を養う。

1年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計 140 h		
	Unit 0 (小学校 復習他) 6h	Unit1 (be動詞、 一般動詞) 9h	Unit2 (一般動 詞、疑問 詞) 9h	Unit3 (一般動詞) 発表 11h	Unit4 (疑問詞、 複数形) 9h	夏休 み	Unit5 (前置詞、 過去形) 10h	Unit6 (三人称単 数現在形) 13h	Unit7 (代名詞) 12h	Unit8 (現在進行 形、感嘆 文) 15h	Unit9 (want to , need look 形容 詞) 12h	冬休 み Let's Read 4h		Unit10 (一般動詞 の過去形) 10h	Unit11 (be動詞の 過去形) 12h
2年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計 140 h		
	Unit0 春休みの 思い出 (be動詞過 去、過去 進行形) 4h	Unit1 旅の予定 を伝える 他 (be going to, will SV00 SV0C) 14h	Unit2 好きな食 物を伝え る他 (接続詞) 14h	Unit3 経験や将 来の夢を 伝える他 (不定詞、 動名詞) 17h	夏休 み	Let's read 時間軸に 沿って物 語の概要 をとらえ る 4h	Unit4 日本と他 の国との 生活習慣 や文化の 違いを説 明する他 (助動詞) 16h	Unit5 ユニバー サルデザ インの商 品や場所 を説明す る他 (疑問詞+ to) 16h	Unit6 身近なト ピックに ついて事 実を比べ たりしな がら説明 する他 (比較) 21h	冬休 み Let's read 場面や 心情を 読み取 る 5h	Unit7 世界遺産 を紹介す ることが できる他 (受け身) 18h	町調べ 発表 復習活 動 7h		Let's read3 環境課 題につ いて読 み取る 5h	
3年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計 140 h		
	Unit0 言語など 国の特徴 や魅力を 伝える… 4h	Unit1 日本のポ ップカル チャーに ついて考 える(現 在完了①) 他 12h	Unit2 エシカル ファッション について 考える (現在完 了②、現 在完了 進行形) 他 15h	Unit3 絶滅危惧 の動物に ついてで きることを 考える (不定詞) 他 16h	Let's read Mother's Lullaby 5h	夏休 み	Unit4 防災につ いての情 報を読み 取り話し 書く(関 節疑問文 、SV00) 他 16h	Unit5 ガンディー の生涯に ついての 文章の要 旨を捉え 説明する (接触節 、関係代 名詞)他 16h	Unit6 世界の現 状につい ての話を 概要を捉 えて感想 や意見を 伝える (仮定法) 他 18h	冬休 み	総合問 題演習、 発表活 動 22h	Let's read2 エネル ギー問 題につ いて読 み意見 を伝え る 4h		Let's read3 スピー チの原 稿を読 み要点 をつか み説明 する 6h	

<p><b>・授業について</b> * 授業は基本的に英語で行います。<b>集中して聞き続けると理解が進みます。</b> * 授業は教科書の内容を中心に進めて行きます。また、学んだことを使って応用的な内容を行うこともあります。 * 副教材としてワークなどを使用します。その他、教科係から連絡があったものを必ず持ってきましょう。</p> <p><b>・生徒のみなさんに</b> * 英語を学ぶ時「聞く、読む、話す、書く」の全てが身に付くことで英語力になります。 * 大切なことは「<b>積極性</b>」です。「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」「他の方とのやり取り」<b>すべての活動に積極的に取り組み</b>ましょう。 * わからないところは、<b>質問</b>しましょう。 * 英語を通して学べる様々な国の文化についても、関心をもち、<b>自分の視野を広げて</b>いきましょう。 * 教材がないと自分の学習が遅れます。忘れ物をした場合は、<b>授業開始前に必ず先生に伝え</b>ましょう。</p>	<p><b>・家庭学習について</b> * 授業の最後に課題があります。学習の定着に必要ですので、必ず取り組みましょう。 * 授業で行ったことの復習は、その日のうちにやりましょう。(教科書の音読、ノート練習、まとめ 等) * 提出物は計画的に取り組み、期限までに提出しましょう。<b>課題は評価に含まれます。</b></p> <p><b>・試験前はこうに取り組み</b> * 教科書の範囲を音読して書く練習をしましょう。(暗唱できるまで読むことで、読み方や使い方などの知識を増やすだけでなく、内容の理解にもつながります。) * ノートやワークシートなど、一度書いたものの発音や書く練習をしましょう。(授業中に書いた文や、語句を確認しましょう。) * ワークの問題の間違えたところを必ず直しましょう。(一度学んだことを「繰り返し」復習することが学習の定着には大切です。) * テレビの英語学習番組や、映画、音楽など、実際の英語を見聞きしたり発音する時間をもつと、英語力向上につながります。</p>
--	---

	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
評価観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解している。</li> <li>・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実践のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</li> </ul>
評価資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・単語・連語テスト (スプリングコンテスト)</li> <li>・基本文テスト</li> <li>・小テスト</li> <li>・パフォーマンステスト(会話・スピーチ・音読)(正確さ・流暢さ・つなぎ言葉等)</li> <li>・リスニングテスト</li> <li>・ディクテーションテスト</li> <li>・単元テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション活動</li> <li>・授業での即興的なスキットやスピーチ(内容・工夫)</li> <li>・定期テスト</li> <li>・単元テスト</li> <li>・パフォーマンステスト(内容・工夫)</li> <li>・作文等作品(内容・工夫)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業観察 (活動への取り組み状況など)</li> <li>・提出物に対する取り組み</li> <li>・会話テストやスピーチ(話し方・積極性等)</li> <li>・授業での即興的な会話やスピーチ、自己表現作品等の取り組み</li> </ul>